

2023年 2月 14日

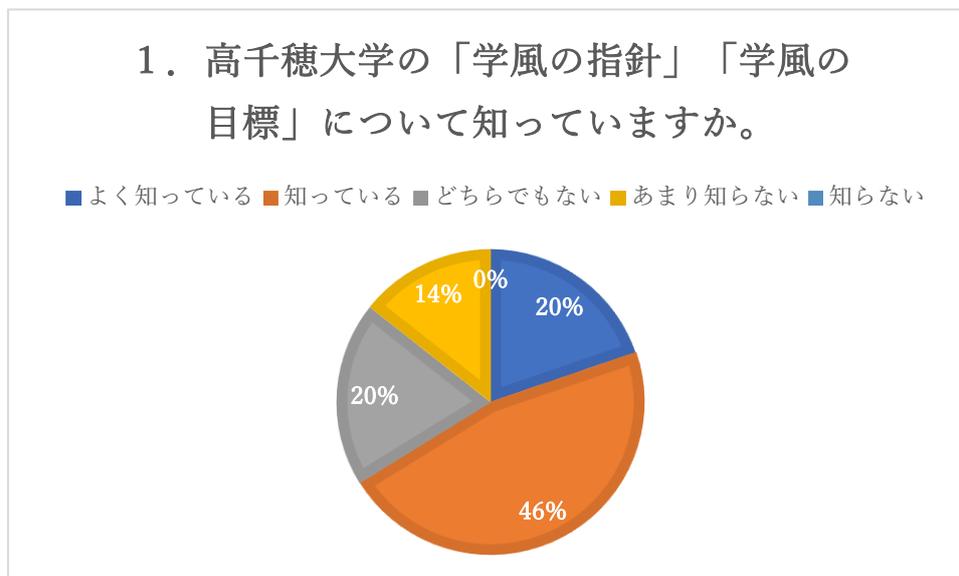
学修行動・成果アンケートについて（4年生）

学長室
教務委員会

2022年度に新入生対象として実施したアンケートについて経年変化を見るために、10月から上級生に向けて実施を行いました。4年生は12月1日から1月16日にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、489名からの回答を得ました。

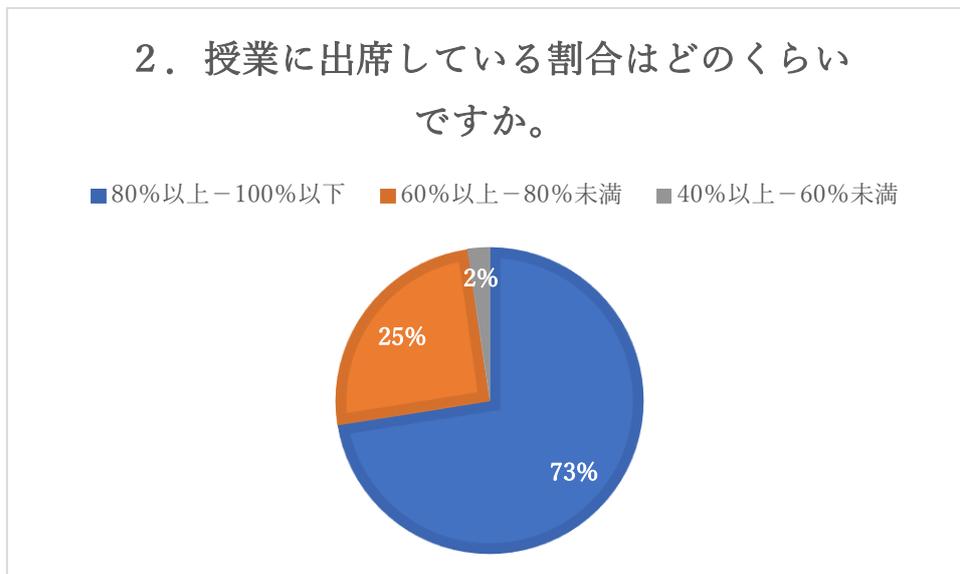
本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

1 高千穂大学の「学風の指針」「学風の目標」について知っていますか。



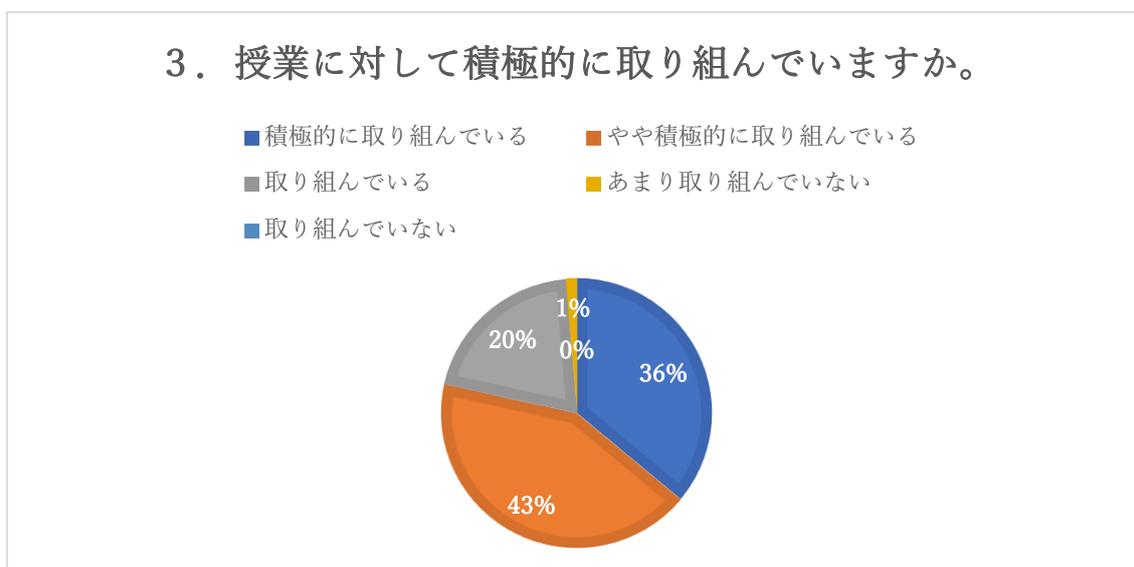
この学年は、入学時のオリエンテーションが実施されたこともあり、学風の指針および目標について半数以上の学生が知っていると回答している。

2 授業に出席している割合はどのくらいですか。



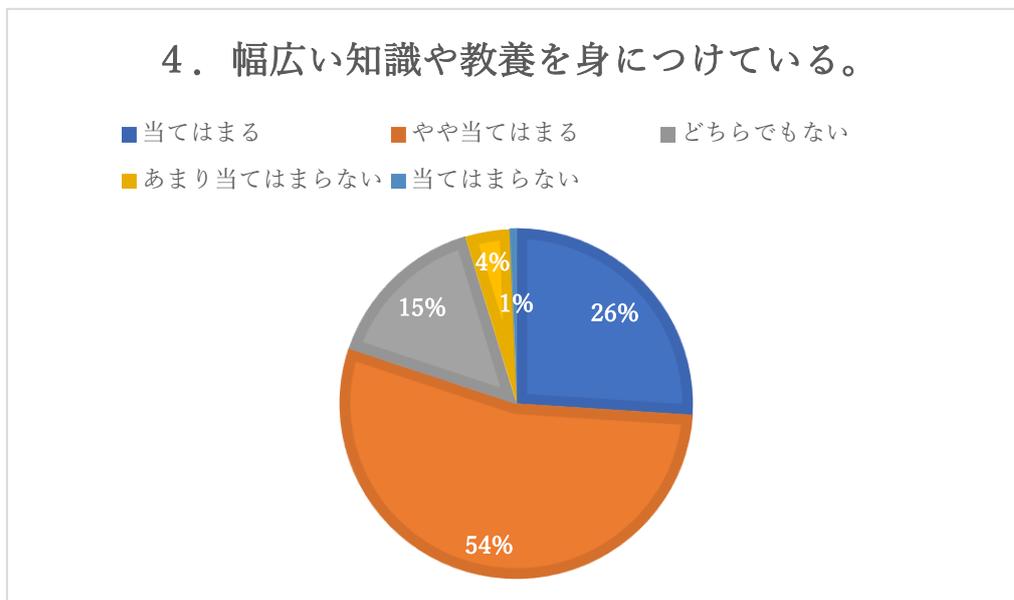
コメント：高い出席率を維持していることが示されている。

3 授業に対して積極的に取り組んでいますか。



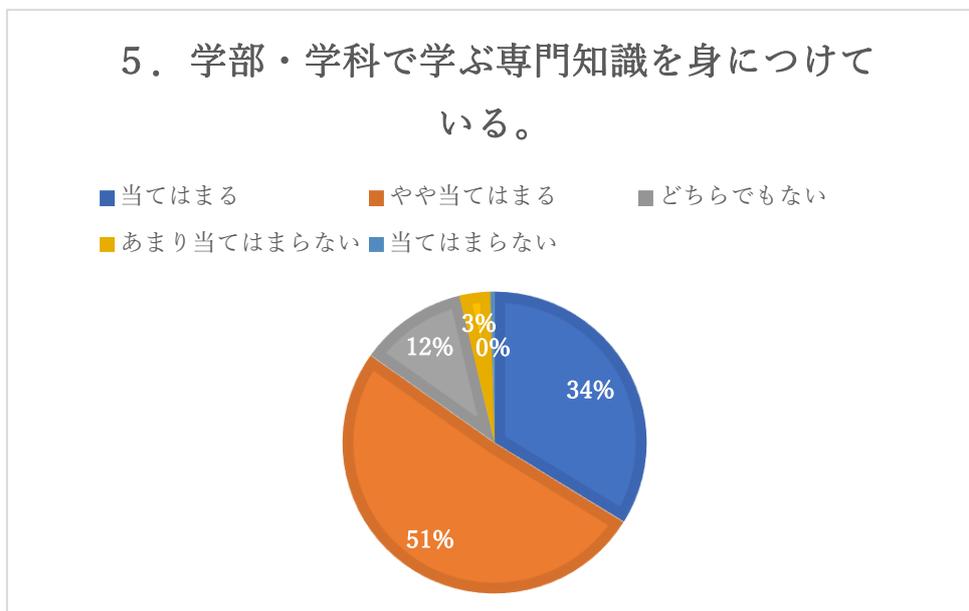
コメント：授業への取り組みも高くなっている。8割以上が熱心に取り組んでいると回答している。これは、多くの学生が卒業単位のほとんどを取得していることにより、目的意識を持って履修しているということを示している。

4 幅広い知識や教養を身につけている。



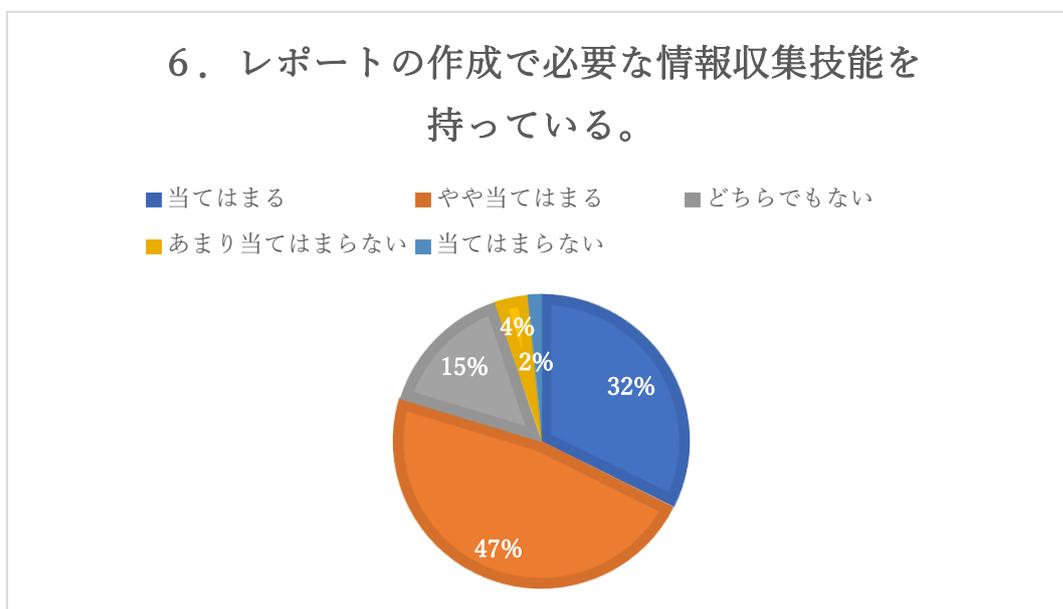
コメント：約 8 割の学生が、幅広い教養を身につけていると回答している。4 年次となり、教養・専門科目をバランスよく学んでいることを実感していることがこのアンケートから示されてる。

5 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。



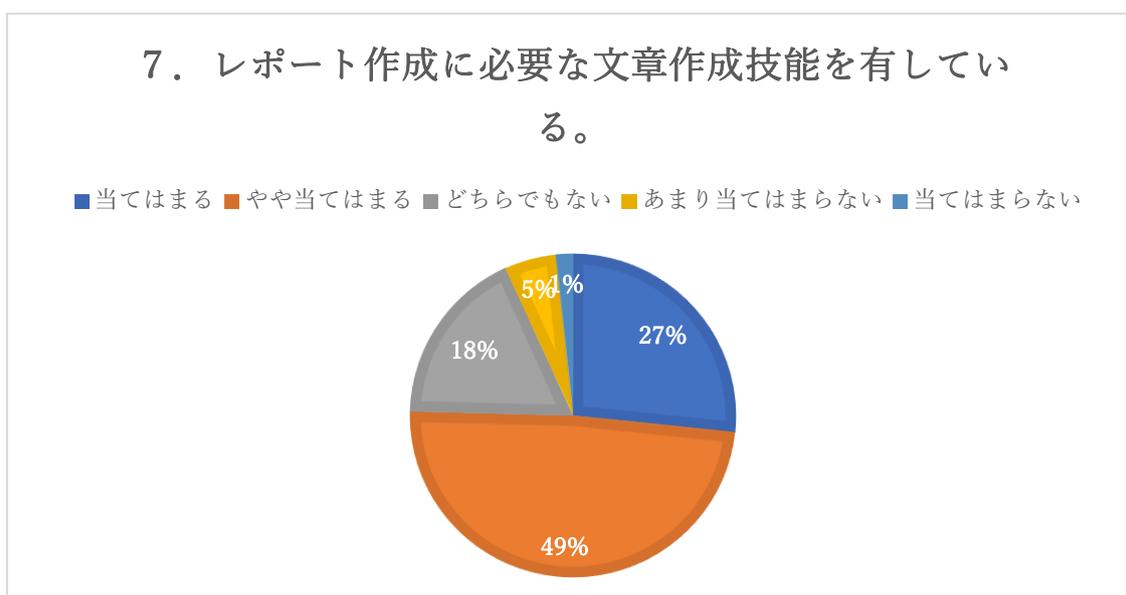
コメント：上級生となり専門科目の履修となる。またゼミでの学習及び卒業論文等を踏まえた専門知識を身につけているということが反映されている。

6 レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている



コメント：8割以上の学生が情報収集能力を有していると回答している。4年生で卒業論文の執筆を中心として、大学での学習で必要な情報収集が身につけていることを示している。

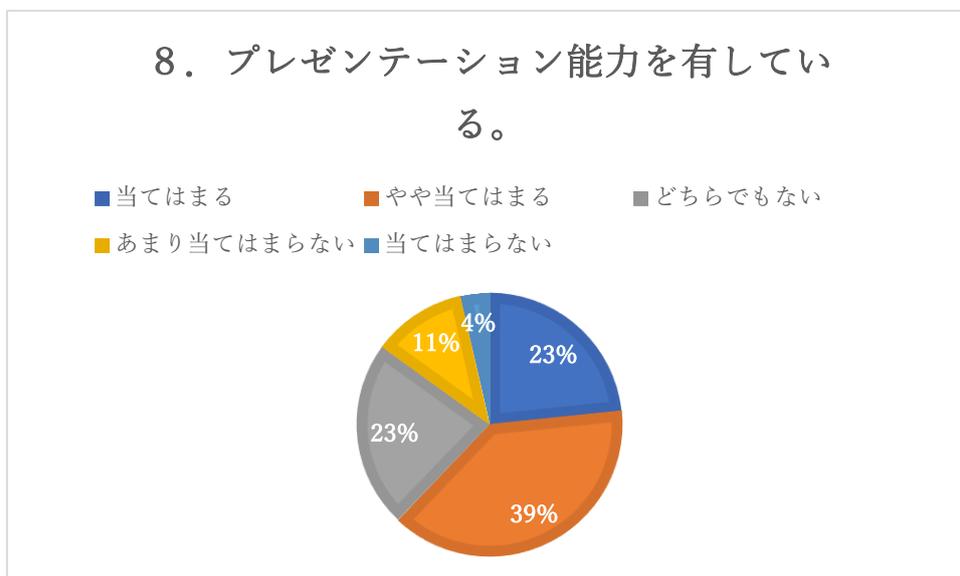
7 レポート作成に必要な文章作成技能を有している。



コメント：上級生となり、高度な文章作成が求められるようになることが示されている。た

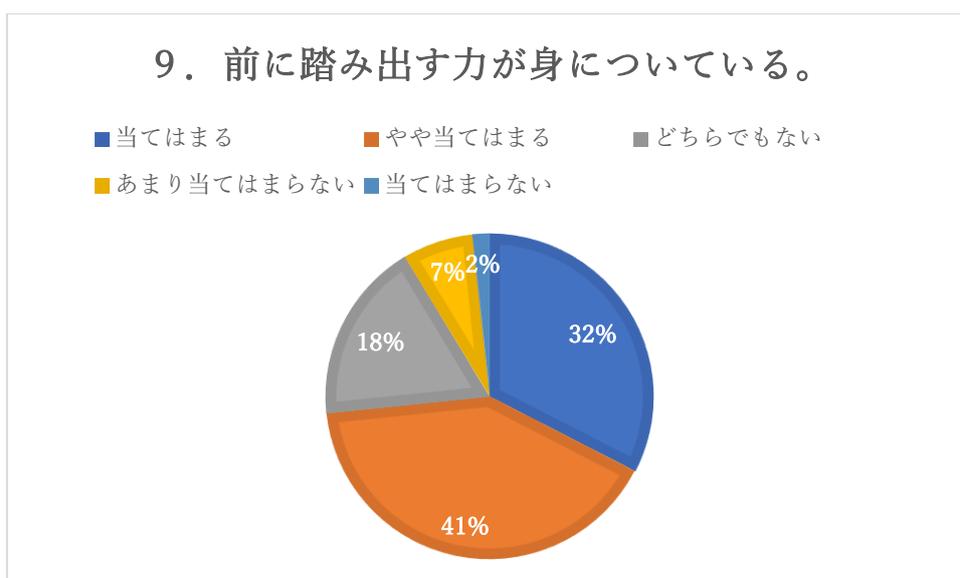
だし、3年生と比べてもそれほど伸びているわけではない。

8 プレゼンテーション能力を有している



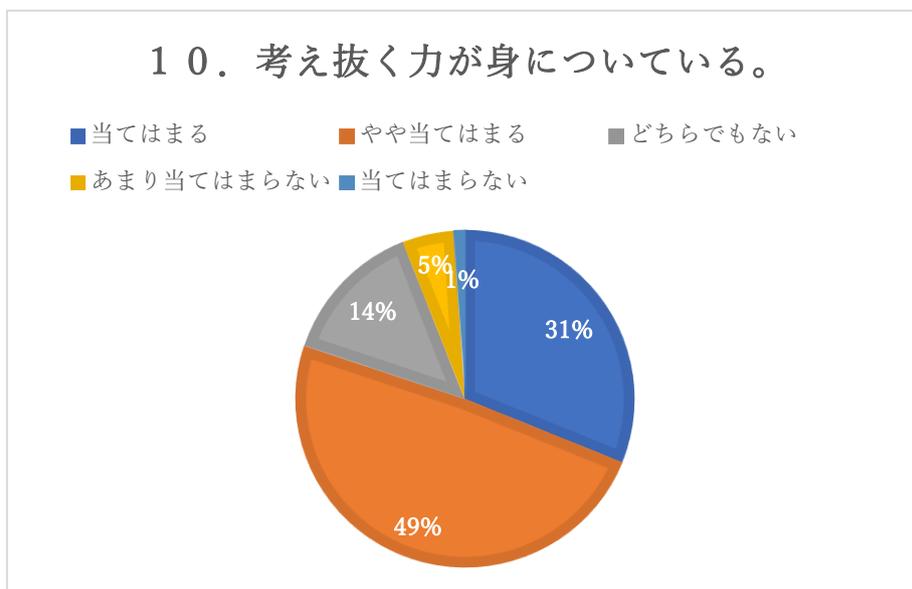
コメント：4年生は、コロナ禍でゼミ活動が遠隔で行われることが多かったため、プレゼンテーション能力が身につかない時期が続いていたが、オンラインでの活動などによってある程度の学生がプレゼンテーション能力について身につけていると回答している。

9 前に踏み出す力が身についている



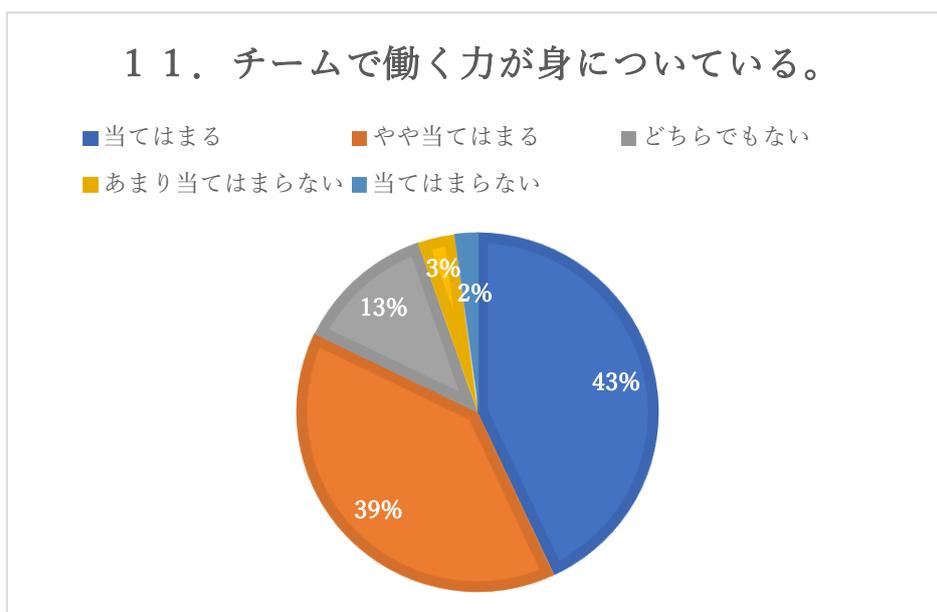
コメント：7割程度の学生が、積極性、前に踏み出す力がついていると回答している。これは大学での学習に加えて、進路にかかわる指導で身についたものと考えられる。

10 考え抜く力が身に付いている



コメント：8割の学生が考える力が身に付いていると回答している。3年生4年生での専門科目の学習と4年生での卒業論文執筆によって考える力が身に付いていることが示されている。

11 チームで働く力が身に付いている



コメント：約8割の学生がチームでの協働について身についたと回答している。4年生となり、ゼミでの活動が少なくなる中でも、3年時のゼミ活動を通じて、チームワークを身につけたことを実感していると思われる。